



平成28年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年1月12日

上場取引所 東 福

上場会社名 株式会社 エムビーエス  
コード番号 1401 URL <http://www.homemakeup.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 貴士  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 栗山 征樹

TEL 0836-37-6585

四半期報告書提出予定日 平成28年1月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年5月期第2四半期の業績(平成27年6月1日～平成27年11月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年5月期第2四半期	867	5.6	80	△12.6	98	△11.7	61	△36.2
27年5月期第2四半期	821	2.8	92	34.3	111	46.1	95	109.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年5月期第2四半期	89.86	—
27年5月期第2四半期	158.00	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年5月期第2四半期	2,273	1,287	56.5	1,766.07
27年5月期	2,135	896	41.9	1,481.43

(参考)自己資本 28年5月期第2四半期 1,287百万円 27年5月期 896百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年5月期	—	0.00	—	—	—
28年5月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年5月期の業績予想(平成27年6月1日～平成28年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,100	13.6	148	△14.8	170	△18.0	105	△32.2	149.41

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年5月期2Q	727,500 株	27年5月期	619,500 株
② 期末自己株式数	28年5月期2Q	— 株	27年5月期	14,400 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年5月期2Q	679,342 株	27年5月期2Q	605,100 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きは終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算短信に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

なお、業績予想の1株当たり当期純利益は、平成27年8月12日を払込期日とした一般募集による新株式発行株式数108,000株及び自己株式の処分株式数14,400株を含めた予定期中平均株式数により算出しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府や日本銀行による経済・金融政策を背景に、企業収益や雇用・所得環境の改善がみられる等、緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、中国や新興国をはじめとした海外経済減速による影響が懸念され、日本国内においても、地方では景気回復の実感は乏しく、消費マインドは力強さを欠く等、依然として、不透明感を払拭できない状況となっております。

当社が属する建設業界におきましては、東京オリンピック・パラリンピックやリニア中央新幹線建設に伴う発注に期待感があるものの公共投資は減少傾向が続くと予想され、資材価格の上昇、労務逼迫等の懸念が払拭されず、不透明な要因を併せ持つ経営環境が続いております。

このような状況の中、当社は新たに平成27年6月に埼玉支店(埼玉県)、福山支店(広島県)、下関支店(山口県)、同年9月に久留米支店(福岡県)を開設するとともに、既存店におけるパートナー(工務店等)との関係強化に取り組み、受注拡大を図って参りました。また、原価低減と経費削減、工事採算性を重視した受注方針の徹底、施工管理と品質・技術の向上に努めるとともに、人材採用及び育成にも積極的に取り組み、業容拡大や収益力の向上等も図って参りました。

これらにより、当第2四半期累計期間における売上高は、867,908千円(前年同期比5.6%増)、営業利益は、支店開設や業容拡大を図るための積極的な採用強化を行ったことにより80,566千円(前年同期比12.6%減)となりました。また、経常利益は、当社太陽光発電による売電収入16,388千円、助成金収入10,000千円、外国社債に関する有価証券利息8,185千円、減価償却費9,521千円、株式交付費8,153千円、支払利息1,744千円の計上等により98,494千円(前年同期比11.7%減)、四半期純利益は、61,043千円(前年同期比36.2%減)となりました。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

#### (ホームメイキャップ事業)

ホームメイキャップ事業におきましては、ホームメイキャップ工法による内外装リフォーム工事等の増加により、売上高は829,585千円(前年同期比9.6%増)となり、セグメント利益は148,975千円(前年同期比0.4%増)となりました。

#### (建築工事業)

建築工事業におきましては、新築及び改修工事等が減少したため、売上高は37,454千円(前年同期比41.3%減)となり、セグメント損失は97千円(前年同期はセグメント利益5,498千円)となりました。

#### (その他)

FC加盟店に対するコーティング材等の販売に関する事業等で構成されるその他の事業におきましては、材料販売等の増加により、売上高は868千円(前年同期比35.2%増)となり、セグメント利益は206千円(前年同期比145.2%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末における資産の部は、前事業年度末に比べ137,847千円増加し、2,273,530千円となりました。これは主に、完成工事未収入金79,702千円の増加、未成工事支出金50,498千円の増加等によるものであります。

負債の部は、前事業年度末に比べ252,956千円減少し、986,315千円となりました。これは主に、未払法人税等71,097千円の減少、工事未払金47,945千円の減少、長期借入金44,130千円の減少等によるものであります。

純資産の部は、前事業年度末に比べ390,803千円増加し、1,287,215千円となりました。これは主に、公募増資による資本金150,152千円及び資本準備金150,152千円の増加、利益剰余金61,043千円の増加等によるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年7月10日に公表いたしました平成28年5月期業績予想につきましては、現時点において変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
  
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

## 3. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年5月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	562,329	563,701
受取手形	72,605	83,900
完成工事未収入金	291,827	371,530
売掛金	11,720	11,994
未成工事支出金	45,717	96,216
原材料及び貯蔵品	12,037	11,226
その他	26,271	32,227
貸倒引当金	△4,524	△4,507
流動資産合計	1,017,984	1,166,290
固定資産		
有形固定資産		
土地	395,240	395,240
その他(純額)	213,420	201,726
有形固定資産合計	608,661	596,966
無形固定資産	66	1,806
投資その他の資産		
投資有価証券	383,352	362,179
その他	128,845	151,333
貸倒引当金	△3,226	△5,047
投資その他の資産合計	508,971	508,466
固定資産合計	1,117,699	1,107,239
資産合計	2,135,683	2,273,530
<b>負債の部</b>		
流動負債		
工事未払金	307,102	259,157
買掛金	41,053	42,226
1年内返済予定の長期借入金	95,615	88,260
未払法人税等	106,402	35,305
完成工事補償引当金	51,654	52,173
その他	128,033	54,495
流動負債合計	729,862	531,617
固定負債		
長期借入金	397,994	353,864
資産除去債務	4,672	5,099
その他	106,742	95,733
固定負債合計	509,409	454,697
負債合計	1,239,271	986,315

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年5月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年11月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	185,012	335,164
資本剰余金	165,642	343,931
利益剰余金	442,194	503,237
自己株式	△11,904	-
株主資本合計	780,944	1,182,332
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	115,467	102,482
評価・換算差額等合計	115,467	102,482
新株予約権	-	2,400
純資産合計	896,411	1,287,215
負債純資産合計	2,135,683	2,273,530

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年11月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年6月1日 至平成27年11月30日)
売上高	821,614	867,908
売上原価	561,708	583,655
売上総利益	259,906	284,252
販売費及び一般管理費	167,760	203,686
営業利益	92,145	80,566
営業外収益		
不動産賃貸収入	1,883	2,110
有価証券利息	8,190	8,185
売電収入	15,792	16,388
助成金収入	8,354	10,000
その他	2,428	1,509
営業外収益合計	36,648	38,193
営業外費用		
支払利息	1,953	1,744
売電費用	1,464	678
減価償却費	10,752	9,521
貸倒引当金繰入額	3,072	-
株式交付費	-	8,153
その他	-	167
営業外費用合計	17,243	20,265
経常利益	111,550	98,494
特別利益		
違約金収入	43,200	-
特別利益合計	43,200	-
特別損失		
投資有価証券評価損	-	1,850
特別損失合計	-	1,850
税引前四半期純利益	154,750	96,644
法人税、住民税及び事業税	69,810	32,728
法人税等調整額	△10,666	2,872
法人税等合計	59,144	35,601
四半期純利益	95,606	61,043



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年11月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年6月1日 至平成27年11月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	154,750	96,644
減価償却費	13,451	12,171
貸倒引当金の増減額(△は減少)	4,621	1,803
完成工事補償引当金の増減額(△は減少)	4,538	518
受取利息及び受取配当金	△8,665	△8,674
支払利息	1,953	1,744
投資有価証券評価損益(△は益)	-	1,850
株式交付費	-	8,153
売上債権の増減額(△は増加)	△119,072	△91,272
たな卸資産の増減額(△は増加)	14,048	△49,688
仕入債務の増減額(△は減少)	13,224	△46,772
その他	△17,762	△80,055
小計	61,087	△153,576
利息及び配当金の受取額	475	488
利息の支払額	△1,850	△2,062
法人税等の還付額	18,563	-
法人税等の支払額	△1,116	△104,072
営業活動によるキャッシュ・フロー	77,158	△259,222
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
保険積立金の積立による支出	△20,552	△20,555
有形固定資産の取得による支出	△56,528	-
無形固定資産の取得による支出	-	△1,800
貸付けによる支出	△10,000	-
貸付金の回収による収入	772	874
敷金及び保証金の差入による支出	△1,460	△573
その他	△105	△10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△87,874	△22,064
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の返済による支出	△155,000	-
長期借入れによる収入	210,000	-
長期借入金の返済による支出	△47,952	△51,485
リース債務の返済による支出	△362	△365
株式の発行による収入	-	292,151
自己株式の売却による収入	-	40,040
新株予約権の発行による収入	-	2,400
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,685	282,741
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,093	△81
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,937	1,372
現金及び現金同等物の期首残高	366,233	562,329
現金及び現金同等物の四半期末残高	363,295	563,701

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期累計期間(自 平成26年6月1日 至 平成26年11月30日)

該当事項はありません。

当第2四半期累計期間(自 平成27年6月1日 至 平成27年11月30日)

株主資本の金額の著しい変動

当社は、平成27年8月12日を払込期日とする公募による新株式発行及び自己株式処分を実施しました。この結果、当第2四半期会計期間末において資本金が150,152千円、資本準備金が150,152千円、その他資本剰余金が28,136千円それぞれ増加、自己株式が11,904千円減少し、当第2四半期累計期間において資本金が335,164千円、資本剰余金が343,931千円となっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自 平成26年6月1日 至 平成26年11月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ホームメイキャ ップ事業	建築工事業	小計		
売上高					
外部顧客への売上高	757,172	63,800	820,972	642	821,614
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	757,172	63,800	820,972	642	821,614
セグメント利益	148,426	5,498	153,924	84	154,008

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、F C加盟店に対するコーティング材等の販売に関する事業等を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	153,924
「その他」の区分の利益	84
全社費用(注)	△61,863
四半期損益計算書の営業利益	92,145

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期累計期間(自 平成27年6月1日 至 平成27年11月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ホームメイキャ ップ事業	建築工事業	小計		
売上高					
外部顧客への売上高	829,585	37,454	867,039	868	867,908
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	829,585	37,454	867,039	868	867,908
セグメント利益又は損失(△)	148,975	△97	148,877	206	149,083

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、F C加盟店に対するコーティング材等の販売に関する事業等を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	148,877
「その他」の区分の利益	206
全社費用(注)	△68,517
四半期損益計算書の営業利益	80,566

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。